

【インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症対策】 鹿児島市バドミントン少年団連盟 公益財団法人 日本バドミントン協会「新型コロナウイルス感染症に対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」より抜粋

- 大会当日の行動における注意事項（各自、熟読の上遵守してください。）
 - ・ 感染症対策が遵守できないと運営側が判断した場合、大会途中でも中止を宣言する。
 - ・ 原則として選手及び関係者（保護者、兄弟姉妹他）の健康・安全の確保を最優先とする。
 - ・ 体調不良の方の出場および来場を禁止する。
 - ・ 入口での検温（小学生 37.5° 以上・大人 37.0° 以上）により入館を禁止する。
 - ・ 選手・大会関係者が必ず持参する物：①マスク（3枚以上）②外履きを入れる袋
 - ・ 各団で用意する物：消毒液
 - ・ マスク着用により入館を認める。
- 体育館（観覧席）の行動
 - ・ 体育館に入場する全ての方は、当日の朝、検温を行うこと。万一、発熱、倦怠感、咳、咽頭痛などの自覚症状がある方は、来場を控えること。（入場時に検温を行います。）
 - ・ 入場時に、「健康確認シート」を会場入口にて提出すること。
提出が無い場合は入場及び大会参加を認めない。当日の棄権扱いとし参加料の返却も行わない。
 - ・ 各自、常時マスクの着用とする。（交換用のマスクを準備して使用済みは、各自で処分する）
 - ・ 体育館入場の際、入口に準備してある消毒位置にて消毒を行い観覧席に速やかに移動すること。
 - ・ 靴箱の使用を禁止し外履きを各自持参した袋に入れ自己管理を行う。
 - ・ 試合直前に消毒液で手指消毒をして各自コート入場すること。
- 選手及び観客（応援者）の入場制限について
 - ・ 事前に発表する試合スケジュール及びタイムテーブルにより分散入場をお願いする。
 - ・ 参加者1名に保護者1名とするが、小学生の大会では、幼児を連れてくるのが予想されるため、各家庭で預けるなどの対策をできるだけお願いする。
 - ・ 保護者以外の監督、指導者、コーチも必要最小限でお願いする。
- 開会式、試合中、閉会式について
 - ・ 開閉会式は館内放送を通じて応援席にて行い、表彰式は簡略化する。
 - ・ 換気は常時行うことを基本とし施設内の換気施設使用や窓や扉などを開放し実施する。
 - ・ 常時の換気が出来ない場合は、換気のタイミングや換気時間をある程度決め、試合を一時中断し換気を行う。
 - ・ 主審・線審は参加人数制限の緩和策として小・中学生及びその関係者による審判を基本とする。
 - ・ コールの後に2階観覧席より指示されたコートに入ること。
 - ・ 1階フロアーへは、指定された入口を使用しそれ以外は、使用しないこと
 - ・ 各コートには、選手、審判、監督（コーチ席1名）のみとする。
 - ・ 各コートに入場する選手等は、その直前に各団で準備した消毒液で手指消毒を行うこと。
 - ・ コートサイドには、トーナメントバッグの持ち込みを許可し飲み物、タオルなどを収容させる。
 - ・ 試合中を除きそれ以外ではマスクを着用とする。（試合中のマスク着用も可とする。）
 - ・ 試合中の掛け声、ダブルスでのタッチなどを極力抑えること。
 - ・ 各コートのモップ掛けは、ゲーム毎の試合終了後に当該選手にて行う。
 - ・ 試合前・試合後の握手は、行わず挨拶のみとする。

- 指定場所でスコアー受け渡しを待つ間は、できるだけ2mの間隔をあけて待機すること。
- 応援は指定された2階席で行い、応援のためコート近くへの移動は行わない。
- 応援は、声の発生を抑え、拍手のみでの応援を推奨する。
- 昼食の時間は持にもうけない。食事間隔も2m以上を保ち食事中的の会話は控える。
- 食事可能な観覧席に移動し食事間隔も2m以上を保ち食事中的の会話は控える。
- 自身の試合・役割（審判等）が終了したら、観戦や応援をせず、速やかに帰宅をすること。
- ごみ処理（マスク等）は、各自持ち帰り自宅にて処分する。

感染状況の悪化によっては、大会中止も視野に入れながら十分検討した上で、上記の処置により大会開催を決定いたしました。

大会参加については、小・中学生を対象とした大会なので、全てに対しご家庭及び団体指導者での判断による参加とさせていただきます。